

行政視察報告

総務文教常任委員会および産業厚生常任委員会が先進地視察を実施しましたので、その概要を報告します。報告書全文は宿毛市議会ホームページ (<http://www.city.sukumo.kochi.jp/01/04/02/>) に掲載する予定です。

問 議会事務局 ☎ 63-2907

総務文教常任委員会

日時 平成 30 年 10 月 26 日 (金) 10 時～

視察地 熊本県上益城郡益城町

視察テーマ 庁舎等公共施設の復興に向けた取り組みについて

ましきまち
益城町は人口約 34,000 人の町であり、熊本市の東部に隣接し、ベッドタウンとしての機能性から人口増加が続いています。しかしながら、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震により、ほとんどの家屋が損壊し、多くの死傷者を出す甚大な被害を受けました。本委員会は、庁舎等公共施設の復興に向けた取り組みの現状について調査しました。復旧業務は、私有地を借上げて設置した仮庁舎で行っていましたが、庁舎を含め、農地や道路、橋梁等、様々な公共施設が被災しており、復旧・復興にあたる技術系職員の不足が大きな課題となっ

ていたため、宿毛市においては南海トラフ地震等からの復旧・復興を見据えた技術系職員の採用や、災害応援協定を締結している自治体との事前協議で、円滑に職員を派遣していただく方法等を検討すべきであると考えています。

学校給食センター関連では、被災後、どのような経緯で完全給食再開までたどり着いたのかを具体的にお聞きする中で、大規模災害発生時においても給食を継続的に提供できるよう、事前に広域連携等を検討しておくよう提言をいただきました。

産業厚生常任委員会

日時 平成 30 年 11 月 8 日 (木) 10 時～

視察地 群馬県利根郡川場村

視察テーマ 道の駅 川場田園プラザについて

かわばむら
川場村は群馬県の北部地域に位置し、日本百名山の武尊山の南麓に広がる自然豊かな農山村です。人口約 3,600 人、高齢化率は 40.7% と高く、村存亡の危機感を抱いていました。そこで基幹産業の農業に観光をプラスし、交流人口を増加させ、村民の所得向上に繋がるよう村づくりに取り組んできました。

道の駅 川場田園プラザは村の情報発信拠点施設として農産物の消費拡大、地場産品の開発・PR・流

通促進を行い、村民の雇用につなげ、村内消費の拡大にも大きく貢献しています。また、「家族で一日楽しめる道の駅」として、東日本第 1 位という評価も得ております。平成 29 年度は年間約 180 万人が来場し農家等の村民の所得向上に寄与しています。

本委員会は、川場田園プラザ設立のきっかけや、行政との協働、現状に至るまでの経緯等について調査しました。

日時 平成 30 年 11 月 9 日 (金) 9 時～

視察地 群馬県富岡市

視察テーマ ふれあいの居場所の取り組みについて

とみおかし
富岡市は群馬県の南西部に位置する、人口約 49,000 人の市です。三方を山に囲まれ、四季の変化に富み、自然豊かで、風光明媚な地域です。

高齢化が進む中、住民同士がふれあい、支え合う、絆のある地域づくりを推進するため、ふれあいの居場所づくりを進めてきました。目的としては、地域における孤立や閉じこもり、虐待、消費者被害などを防止すると共に、生きがいづくりの場・社会貢献の場を提供し、住民同士が支え合う地域社会を作ること等があります。

今回視察したのは、「うだん家」というふれあいの居場所です。ここは代表者の方のお家を、皆が気軽に集えるよう改装し、数名のボランティアによって運営されていました。富岡市主催の勉強会を契機に、自主的にふれあいの居場所を立ち上げ、憩いの場、住民相互の交流の場となっていました。

本委員会は、ふれあいの居場所を始めたきっかけ及び目的や、その効果、住民同士のつながりの変化等について調査しました。